

第1回国大化学会同窓委員会のご報告

企画担当執行役員 松本 正和（昭和45年応化卒）

前会報でお知らせ致しましたように、国大化学会では統合後の要となる新ネットワークとして旧クラス幹事制に換えて同窓委員制を進めております。これは新旧OBの交流を図り、同時に会の活性化を促そうとするもので、大学にとっても学生にとっても意義ある同窓会組織に変革していくことを目指す会にとって、基幹となる重要な制度であります。

第1ステップは昨年9月に活動を開始しましたが、旧クラス幹事の方々を中心に同窓委員をお願いし、あるいはお仲間のご紹介をお願いするレター作戦で、既に90名を超える方々に同窓委員をお引き受けいただきました。国大化学会にとりまして、クラスの方々にとりまして真にありがたいことで、厚くお礼申し上げます。未定のクラスについては引き続き電子メールによるお願いを続けていきたいと思いますので、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

第2ステップは、主に平成世代の取り込みを図って、研究室別、グループ別に同窓委員の選定を進めておりますが、今まで全くなかった制度ですので、同窓委員は決まっても、グループ全体を把握し整理し、会に情報をいただくまでなかなか大変です。大学外からはアプローチし難いので、企画担当役員の先生をお願いして、各研究室に同窓委員を推薦していただくようお願いするところから始めております。

上記のようにまだまだネットワーク創りの途上ではありますが、この体制を盛り上げ、顔を合わせることで同窓委員の一体感を高めるべく、前期末の3月27日に第1回目の同窓委員会を開催いたしましたので、以下そのご報告をさせていただきます。

3月27日（土）、常盤台キャンパスの大学会館内きやら亭におきまして、第1回の同窓委員会は開催されました。

この時点で確定していた同窓委員は約100名。期末の慌ただしい時期にも拘らず、また決して交通事情の良くない大学に、このうち40名を越える委員の皆様が参加され、役員を加えて総勢45名の集会となりました。

ご参加の多くは昭和45年卒の私から見ても矍鑠

とした大先輩の方々が多く、その皆様方がご自身達のクラスもさることながら、同窓会と大学の今後が心配なので私が様子を見に来た、との思いが直接間接に感じられ、役員一同感激することしきりでした。また大学を、工学部を、同窓会を憂う、その重みのあるご意見にも圧倒される思いでした。

会は役員と同窓委員の紹介から始まり、米屋会長の大学、同窓会の背景説明を含めたご挨拶があり、私からは統合に始まるこれまでの経緯と機能不全の現状、新制度の同窓委員の役割、国大化学会の当面の課題等をお話し致しました。その後お願いしたいこと、ご意見をいただきたいことについて、個々ご説明する中で担当の役員による補足説明もあり、前半は全体像をご理解頂くことに終始いたしました。

後半は立食の懇親会形式とし、食事をしながらご意見をいただくことにしましたが、会長のご提案でテーマに拘らず卒業年度順に全員に自由にお話をいただくことになりました。

皆様、ご自身の近況から始められ、会や会費の心配をされながら、非常に楽しいお話の中に、筋の通ったご意見を沢山お話していただきました。あまりに熱が入りすぎ、司会役である私もコントロールしきれない内に話しに取り込まれ、時間の経つのを忘れ、気が付けば予定を30分オーバーし、それでもまだ半数近くの方々のお話を伺えないまま、残念ながら閉会となってしまいました。

主催者の設定ミスで時間が短かったことはありますが、同窓委員会の立上会として、非常に有意義な会であったと多くの方々からお言葉を頂きました。また会への思いやりのある、率直なご意見も多数頂けたように思います。これからは原則として年に一回はこの集会を開催していくべきであると、思いを強くした集会でありました。

以下に主だったご意見をまとめ、簡条書きにしましたので、ご参照下さい。

また、最後まで残っていただけた方々の集合写真も載せましたので、懐かしいの方々をお探しいただけたらと思います。

代表のご意見：

- ・工学部同窓会を一本化しないのはおかしい。(複数)
- ・工学部同窓会の一本化が前提だが、全学統一の同窓会組織が是非欲しい。
- ・会費：常にクラス会で喚起している／今後喚起して行く／クラス会の場で集めている。集めた私が代表して納入している。等々
- ・今日は代表して仲間を知ってもらいたいことを聞かせてもらいに来た。
- ・若い人に愛国心がない。皆で一つのことを成し遂げることが大切。同窓会も同じ。
- ・会の長短人生のスパンの違う人たちを纏めていく

のは難しい。幹事の中が大切。

- ・同窓会は若いうちは興味を持ってない。学生時代から恩恵を受けると違うと思う。
- ・若い人達に働きかけるのは難しいが、金銭的援助はできればしていきたい。
- ・気持ちだけの寄付で良ければ話しに乗れる。
- ・クラス会便りは投稿している。更に投稿を勧めて会誌を盛り上げたい。
- ・若い人達が半分位居る、集会はそうした構成にして行って欲しい。
- ・会長、役員だけでは出来ない。皆さんの協力が不可欠です。(会長の同期生)



国大化学会同窓委員一覧

平成 22 年 8 月 10 日現在の、同窓委員をお引き受けいただいた方々の一覧をご紹介します。
各年度の交流の核として、会の中核としてご活動いただきたくお願い申し上げます。会員の皆様もぜひご協力のほどお願いいたします。

また未定の委員については、今後も個々にご協力をお願いをさせていただきますが、お引き受けいただければ幸いです。宜しくお願い申し上げます。

B. 研究室別・グループ別につきましては、まだまだこれからというところですので、特に研究室幹事をされておられる方、やってもよいとお考えの方は事務局までお申し出いただくと非常に助かります。

併せて宜しくお願いいたします。(企画 G 松本)

A. 年度別

卒業年度	科別	同窓委員	備考
昭和 12 年	応化	今村 久寿彦	
	電化・材化	新井 士郎	
昭和 16 年	電化・材化	飛田 進	
昭和 17 年	応化	山崎 弘	
	電化・材化	村松 四郎	顧問
昭和 18 年	電化・材化	西田 通弘	
昭和 19 年	応化	関根 文三	
昭和 20 年	応化	重松 高明	
昭和 22 年	応化	山口 香	
	電化・材化	岡澤 長秋	
昭和 23 年	電化・材化	小高 邦明	
	電化・材化	小笠原 英昭	
昭和 24 年	電化・材化	伊勢 秀夫	
	電化・材化	大屋 忠	
昭和 25 年	応化 2 部	梶 政史	
	電化・材化	並木 博	
昭和 26 年	応化	渡辺 一男	
	応化 2 部	石川 博康	
	電化・材化	森川 三郎	
昭和 28 年	応化	和田 庄平	
	電化・材化	沢崎 俊幸	
	電化・材化	森 正樹	
昭和 29 年	応化	伊藤 幸雄	顧問
昭和 30 年	応化	福田 和吉	
	電化・材化	古尾谷 崇	
昭和 31 年	応化	横山 吉美	顧問
	電化・材化	中村 宏	

卒業年度	科別	同窓委員	備考
昭和 32 年	応化 2 部	徳竹 茂男	
	電化・材化	渡部 一雄	
昭和 33 年	応化	沖山 聡明	
	応化 2 部	長田 穰	
	電化・材化	滝川 哲朗	
	電化・材化	吉原 明俊	
昭和 34 年	応化	土田 宏	
	応化 2 部	土屋 隆夫	
	電化・材化	白木 健一	
	電化・材化	鳥居 英昭	
昭和 35 年	応化	富塚 功	
	応化 2 部	辻 秀徳	
	電化・材化	政野 守雄	
昭和 35 年以前の同窓委員選定は上記で終了とする			
昭和 36 年	応化	(未定)	
	応化 2 部	鈴木 志世	
	電化・材化	鈴木 晴雄	
昭和 37 年	応化	杉山 正敏	
	応化 2 部	阿部 龍之	
	電化・材化	藤林 徹	
昭和 38 年	応化	(未定)	
	応化 2 部	野木一男	
	電化・材化	小嶋 令史	
昭和 39 年	応化	鈴木 茂	
	応化 2 部	(未定)	
	電化・材化	熊代 幸伸	役員

卒業年度	科別	同窓委員	備考
昭和40年	応化	福嶋 優	
	応化 2部	関野 順	
	電化・材化	宮野 靖彦	
昭和41年	応化	井上 誠一	
	応化 2部	笹本 忠	
	電化・材化	相澤 益雄	
	電化・材化	藤島 昭	
昭和42年	応化	高橋 克彦	
	応化 2部	飯島 孝雄	
	電化・材化	佐藤 剛三	
昭和43年	応化	井上 彰則	
	応化 2部	北島 惇夫	
	電化・材化	堀 雅宏	役員
	電化・材化	溝田 隆之	
昭和44年	応化	山田 勝	
	応化 2部	本間 昭弘	役員
	電化・材化	柳町 惇夫	
昭和45年	応化	川崎 健次	
	応化	松本 正和	役員
	応化 2部	目黒 竹司	
	電化・材化	石井 康一郎	
昭和46年	応化	山野 裕	
	応化 2部	降屋 幹男	
	電化・材化	(未定)	
昭和47年	応化	三浦 康明	
	応化 2部	(未定)	
	電化・材化	河合 英樹	
昭和48年	応化	(未定)	
	応化 2部	(未定)	
	電化・材化	稲垣 修一	
昭和49年	応化	蔵並 真一	役員
	応化 2部	(未定)	
	電化・材化	横山 幸男	役員
昭和50年	応化	中村 博	
	応化 2部	末澤 裕子	役員
	電化・材化	古田乃 武司	

卒業年度	科別	同窓委員	備考
昭和51年	応化	(未定)	
	応化 2部	(未定)	
	電化・材化	佐藤 登	
	電化・材化	唐石 俊之	
	電化・材化	若林 学	
昭和52年	応化	(未定)	
	応化 2部	横山 隆	
	電化・材化	樋渡 有	
昭和53年	応化	(未定)	
	応化 2部	(未定)	
	電化・材化	上野 則幸	
昭和54年	応化	本田 清	役員
	応化 2部	(未定)	
	電化・材化	堀江 浩文	
昭和55年	応化	(未定)	
	応化 2部	(未定)	
	電化・材化	長瀬 正浩	
昭和56年	応化	關 金一	役員
	応化 2部	(未定)	
	電化・材化	藤井 義久	
昭和57年	応化	小林 昌志	
	応化 2部	(未定)	
	電化・材化	(未定)	
昭和58年	応化	池田 博	
	応化 2部	(未定)	
	電化・材化	(未定)	
昭和59年	応化	(未定)	
	応化 2部	坂本 欣也	
	電化・材化	森下 芳伊	
昭和60年	応化	(未定)	
	応化 2部	川口 武明	
	電化・材化	(未定)	
昭和61年	応化	(未定)	
	応化 2部	(未定)	
	電化・材化	(未定)	
昭和62年	応化	荒木 政徳	
	応化 2部	佐藤 聖一	
	電化・材化	上田 和拓	

卒業年度	科別	同窓委員	備考
昭和 63 年	応化	川井 明美	
	応化 2 部	牛込 俊裕	
	電化・材化	会田 克昭	
平成 1 年	応化	(未定)	
	応化 2 部	(未定)	
	電化・材化	(未定)	

卒業年度	科別	同窓委員	備考
平成 20 年	物工	山本慎太郎	元学生役員
平成 20 年	物工	関 康一郎	元学生役員
平成 21 年	物工	関 知也	元学生役員
平成 21 年	物工	御園 直樹	元学生役員
平成 22 年	物工	江川 良	現学生役員
平成 22 年	物工	本田 佳之	現学生役員

B. 研究室別・グループ別

名称	科別	卒業年度	同窓委員	備考
米屋・目黒・多々見研	物工	平成 03 年	松風 紀之	役員
米屋・目黒・多々見研	物工	平成 15 年	平塚 大祐	
渡邊・獨古研	物工	平成 20 年	関 康一郎	
渡邊・獨古研	物工	平成 13 年	関 志朗	
渡邊・獨古研	物工	平成 12 年	上木 岳士	
宮澤研	物工	平成 02 年	坂本 泰一	役員
仁木研	電化	昭和 45 年	鈴木 恵一朗	役員
ギタークラブ	電化	昭和 45 年	鈴木 恵一朗	役員
中山・上田研	応化	昭和 60 年	福田 守信	
中山・上田研	応化	昭和 54 年	小尾 直紀	
中山・上田研	物工	平成	西村 俊秀	
佐藤・井上・本田研	物工	平成 17 年	藤本 洋平	
井上・浅見研	物工	平成 07 年	篠田 匡暢	
小林研	電材	昭和 43 年	堀 雅宏	役員
栗田研	応化	昭和 60 年	関谷 隆夫	
佐藤浩太研	物工	平成 20 年	神初 正貴	